

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場会社名 ティ・エス テック株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7313 URL <http://www.tstech.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 満夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部広報課長 (氏名) 倉田 真秀 (TEL) 048(462)1121  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	345,407	7.9	27,309	5.2	28,658	△2.8	16,687	△4.1
27年3月期第3四半期	320,204	△3.8	25,965	△13.6	29,479	△10.0	17,401	△7.6

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 15,949百万円(△49.0%) 27年3月期第3四半期 31,272百万円(△8.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	245.42	—
27年3月期第3四半期	255.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	301,173	217,578	64.3
27年3月期	295,632	206,871	62.6

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 193,611百万円 27年3月期 184,933百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
28年3月期	—	33.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	33.00	66.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	467,000	7.5	38,500	9.1	40,700	0.8	23,000	4.5	338.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	68,000,000株	27年3月期	68,000,000株
28年3月期3Q	1,974株	27年3月期	1,808株
28年3月期3Q	67,998,093株	27年3月期3Q	67,998,245株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。

従いまして、これらの業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績予想とは、大きく異なる結果となり得ることを、ご承知おきください。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
(4) 追加情報 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成27年4月1日～平成27年12月31日）における連結業績は、主要客先からの受注台数の減少影響はあるものの為替換算効果等により、売上高は3,454億7百万円と前年同期に比べ252億3百万円（7.9%）の増収となりました。

利益面では、売上と同様に為替換算効果等により、営業利益は273億9百万円と前年同期に比べ13億44百万円（5.2%）の増益となりました。経常利益は為替差損等の計上により286億58百万円と前年同期に比べ8億20百万円（2.8%）の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は166億87百万円と前年同期に比べ7億13百万円（4.1%）の減益となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、一部連結子会社において決算期変更、または、仮決算による決算期間の変更を行いました。対象となる、ブラジル、中国、及び、インドを除くアジア・欧州の連結子会社の前年比較対象期間は、平成26年1月1日～平成26年9月30日です。

仮決算に関する詳細は、5ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（4）追加情報」をご覧ください。

(日本)

(単位：百万円)

	前第3四半期 累計期間	当第3四半期 累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	66,785	68,609	1,824	2.7%
営業利益	5,158	6,116	957	18.6%

前期との主な増減理由

売上高 主要客先からの受注台数の減少はあったものの、機種構成の良化等により増収となりました。

営業利益 増収効果等により増益となりました。

(米州)

(単位：百万円)

	前第3四半期 累計期間	当第3四半期 累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	161,033	184,982	23,949	14.9%
営業利益	11,575	7,879	△3,696	△31.9%

前期との主な増減理由

売上高 主要客先からの受注台数の減少はあったものの、為替換算効果等により増収となりました。

営業利益 増収効果はあったものの、モデルチェンジに伴う諸経費の増加等により減益となりました。

(中国)

(単位：百万円)

	前第3四半期 累計期間	当第3四半期 累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	72,626	74,253	1,626	2.2%
営業利益	12,162	13,021	859	7.1%

前期との主な増減理由

売上高 主要客先からの受注台数の減少はあったものの、為替換算効果等により増収となりました。

営業利益 増収効果に加えて、機種構成の良化等により増益となりました。

(アジア・欧州)

(単位：百万円)

	前第3四半期 累計期間	当第3四半期 累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	43,351	43,963	612	1.4%
営業利益	2,238	3,655	1,417	63.3%

前期との主な増減理由

売上高 主要客先からの受注台数の減少はあったものの、為替換算効果等により増収となりました。

営業利益 増収効果に加えて、機種構成の良化等により増益となりました。

また、事業別の売上高については次のとおりです。

(単位：百万円)

	前第3四半期 累計期間		当第3四半期 累計期間		前期比増減額	前期比増減率
		構成比		構成比		
二輪事業	4,639	1.5%	4,697	1.4%	58	1.3%
四輪事業	311,578	97.3%	335,944	97.3%	24,365	7.8%
(シート)	278,120	86.9%	299,557	86.8%	21,437	7.7%
(内装品)	33,458	10.4%	36,386	10.5%	2,928	8.8%
その他事業	3,986	1.2%	4,765	1.3%	779	19.5%
合計	320,204	100.0%	345,407	100.0%	25,203	7.9%

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、3,011億73百万円と前連結会計年度末に比べ55億41百万円の増加となりました。これは、為替換算上の影響や主要客先からの受注減等により受取手形及び売掛金が減少となったものの、利益増加等により現金及び預金が増加したこと、及び新機種投資、中国における工場移転等により有形固定資産が増加したことが主な要因です。

(負債)

負債合計は、835億94百万円と前連結会計年度末に比べ51億65百万円の減少となりました。これは、配当金の支払い等によりその他の流動負債が減少したことが主な要因です。

(純資産)

純資産合計は、2,175億78百万円と前連結会計年度末に比べ107億7百万円の増加となりました。これは、為替換算調整勘定が減少したものの、利益剰余金が増加したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の実績、現時点における主要客先からの受注動向及び為替動向を考慮した結果、平成27年4月28日公表の連結業績予想を変更していません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)  
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額  
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更し  
ました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定によ  
る取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に  
変更します。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っ  
ています。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連  
結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っています。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び  
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点  
から将来にわたって適用しています。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

### (4) 追加情報

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

連結子会社のうち、TS TECH DO BRASIL LTDA.、広州提愛思汽車内飾系統有限公司、広州徳愛康紡績内飾製品有限  
公司、寧波保税区提愛思泉盟汽車内飾有限公司、寧波出口加工区提愛思泉盟汽車内飾有限公司、武漢提愛思全興汽  
車零部件有限公司の決算日は12月31日です。

連結財務諸表の作成にあたっては、従来、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引  
については、連結上必要な調整を行っていましたが、連結決算日である3月31日に仮決算を行い連結する方法に変  
更しました。

これに伴い、当第3四半期連結累計期間において、これら連結子会社の平成27年4月1日から平成27年12月31日  
までの9ヶ月間の財務諸表を連結しています。

なお、当該変更に伴う平成27年1月1日から平成27年3月31日までの3ヶ月間の損益については、利益剰余金で  
調整しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	86,440	99,399
受取手形及び売掛金	60,737	50,362
商品及び製品	2,361	2,467
仕掛品	4,351	3,790
原材料及び貯蔵品	24,353	22,250
その他	9,611	13,017
貸倒引当金	△20	△20
流動資産合計	187,836	191,267
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,170	32,517
機械装置及び運搬具（純額）	15,861	18,539
その他（純額）	30,737	30,792
有形固定資産合計	78,769	81,849
無形固定資産	3,183	2,813
投資その他の資産	25,842	25,243
固定資産合計	107,795	109,905
資産合計	295,632	301,173
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,880	45,382
電子記録債務	4,491	4,989
短期借入金	1,674	2,165
1年内返済予定の長期借入金	59	15
未払法人税等	1,687	1,747
引当金	3,786	2,903
その他	20,789	16,742
流動負債合計	78,369	73,944
固定負債		
長期借入金	9	2
退職給付に係る負債	775	771
その他	9,605	8,876
固定負債合計	10,390	9,650
負債合計	88,760	83,594



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,700	4,700
資本剰余金	5,163	5,163
利益剰余金	152,069	166,450
自己株式	△3	△4
株主資本合計	161,928	176,308
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,946	9,893
為替換算調整勘定	12,810	7,119
退職給付に係る調整累計額	247	290
その他の包括利益累計額合計	23,004	17,302
非支配株主持分	21,937	23,966
純資産合計	206,871	217,578
負債純資産合計	295,632	301,173

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	320,204	345,407
売上原価	269,240	287,709
売上総利益	50,963	57,698
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	2,972	4,516
給料及び手当	10,619	12,279
その他	11,407	13,592
販売費及び一般管理費合計	24,998	30,388
営業利益	25,965	27,309
営業外収益		
受取利息	942	869
受取配当金	290	301
受取地代家賃	141	134
為替差益	1,476	—
持分法による投資利益	569	379
その他	246	216
営業外収益合計	3,667	1,901
営業外費用		
支払利息	101	113
為替差損	—	382
その他	51	56
営業外費用合計	152	552
経常利益	29,479	28,658
特別利益		
固定資産売却益	36	435
受取保険金	48	62
特別利益合計	84	497
特別損失		
固定資産売却損	45	46
固定資産除却損	122	258
減損損失	8	14
災害による損失	25	15
その他	0	4
特別損失合計	202	339
税金等調整前四半期純利益	29,361	28,817
法人税等	7,924	7,238
四半期純利益	21,436	21,578
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,035	4,890
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,401	16,687

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	21,436	21,578
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25	△53
為替換算調整勘定	9,096	△5,659
退職給付に係る調整額	713	117
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△33
その他の包括利益合計	9,835	△5,629
四半期包括利益	31,272	15,949
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,626	12,691
非支配株主に係る四半期包括利益	4,645	3,257

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	中国	アジア・ 欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	48,326	160,587	68,653	42,636	320,204	—	320,204
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18,458	445	3,972	714	23,591	△23,591	—
計	66,785	161,033	72,626	43,351	343,796	△23,591	320,204
セグメント利益	5,158	11,575	12,162	2,238	31,135	△5,170	25,965

(注) 1 セグメント利益の調整額△5,170百万円には、セグメント間取引消去△202百万円、親会社の本社管理部門にかかる配賦不能営業費用△3,503百万円を含んでいます。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	中国	アジア・ 欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	49,262	184,327	68,373	43,444	345,407	—	345,407
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19,346	655	5,879	519	26,401	△26,401	—
計	68,609	184,982	74,253	43,963	371,809	△26,401	345,407
セグメント利益	6,116	7,879	13,021	3,655	30,673	△3,363	27,309

(注) 1 セグメント利益の調整額△3,363百万円には、セグメント間取引消去486百万円、親会社の本社管理部門にかかる配賦不能営業費用△3,807百万円を含んでいます。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。